

施設評価シート（ごみ処理施設）

（平成22年度事業）

施設名	日生一般廃棄物最終処分場	問	担当課（室）	環境課		
		合	職・氏名	係長・古松健二		
			先	電話	(0869) 64-1821	
所在地	備前市日生町寒河	所属長職・氏名		課長・森本和成		
		このシート作成に要した時間			1.5 時間	
建物建設費	883,000 千円	財源	国県等補助金	125,669 千円	建設年月	平成 8 年 3 月
			市債・一般財源等	757,331 千円	耐用年数	25 年

根拠法令等の有無	●あり ○なし	名称	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
総合計画上の位置付け	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	基本施策	01	生活しやすいまちづくり
	施策	14	ごみ処理	事務事業名	02	ごみ処理施設管理事業

対象	（この施設運営によりサービスを受けるのは誰か？） 一般廃棄物の処理を必要とする市民・市内事業者				
目的・意図する成果	（この施設運営によってどのような状態を目指しているのか？） 適正かつ効率的に処理する事により、生活環境の保全につなげる。				
施設内容 規模 ごみ処理手数料	施設内容	規模	ごみ処理手数料（直近の改定：平成 年 月）		
	最終処分場 （埋立方式：セル方式）	埋立面積 4,390㎡ 埋立容積 15,554㎡			
	浸出液処理施設	処理規模 30㎡/日			
管理運営方法	<input checked="" type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> すべて直営		（一部委託の内容） 埋立場管理運営：(有)光商事、浸出水処理施設管理：(株)神鋼環境メンテナンス		

経費	項目		平成20年度実績		平成21年度実績		平成22年度実績		単位
	人件費	正規職員		0.0 人	364	0.0 人	116	0.0 人	160
臨時職員							人		人/千円
維持補修費	維持補修費			2,100		2,688		4,410	千円
	物件費			4,700		4,418		5,759	千円
	その他（ ）								千円
	減価償却費			27,264		27,264		27,264	千円
	合計			34,428		34,486		37,593	千円
財源	ごみ処理手数料								千円
	一般財源			34,428		34,486		37,593	千円
人口（ 地域）				8,190		8,060		7,947	人
1人当たりコスト（一般財源）				4,204		4,279		4,730	円
受益者負担率				0.0%		0.0%		0.0%	%

施設の効率性	受益者負担は適正か？ 設定受益者負担率 % <input type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 受益者負担は求められない	判断理由	焼却灰の埋立てのみである。
	管理運営に係るコストを削減する余地はあるか？ <input type="radio"/> 削減の余地はある <input checked="" type="radio"/> 削減の余地はほとんどない		

稼働実績	平成22年度 (単位：t)													
	種別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	搬入量	16.7	14.6	12.0	11.3	16.2	15.3	14.3	19.2	21.4	14.9	17.9	24.6	198.3

平成23年度の状況及び管理運営の改善案	分別区分を拡大推進することにより可燃ごみの減量化を図り、結果、埋立てる焼却灰の量も減少できる。また、施設改修を計画的に行い長寿命化を図る。
---------------------	---

施設修繕・大規模改修費用（今後5年間：平成24年度から平成28年度）					
毎年経常的に必要な修繕費	内容	金額（千円）	今後5年間に必要となる大規模改修費	内容	金額（千円）
	水処理施設改修	2,000			

判定	<input type="checkbox"/> 全面委託が可能 <input type="checkbox"/> 事務等一部委託が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 現在の管理運営形態が望ましい	判定理由	現在の管理運営費は必要最低限の経費である。
----	---	------	-----------------------

総合コメント	備前一般廃棄物最終処分場の埋立可能年数があと約3年あまりとなった現状、分別区分拡大促進、焼却灰のセメント原料化により大幅に埋立量が減少することを踏まえ、日生一般廃棄物最終処分場のあり方を見直しするべきと考える。
--------	---